

「しんぶん赤旗」から転載しています。

原発再稼働ストップ 金曜行動 1月8日



原発ゼロを訴える参加者 前橋駅北口

◇前橋 控訴審に注目を

群馬県の原発をなくす前橋連絡会は前橋駅北口で4回目のマエキン宣伝にとりくみ、13人が参加しました。

群馬訴訟の原告の丹治杉江さんが、「予測できた事と、東電に対し規制権限を行使しなかった国に対し、どのような責任が認められるか、21日の群馬訴訟控訴審判決に注目してほしい」と呼びかけました。

群馬訴訟の原告の丹治杉江さんが、「予測できた事と、東電に対し規制権限を行使しなかった国に対し、どのような責任が認められるか、21日の群馬訴訟控訴審判決に注目してほしい」と呼びかけました。

群馬訴訟の原告の丹治杉江さんが、「予測できた事と、東電に対し規制権限を行使しなかった国に対し、どのような責任が認められるか、21日の群馬訴訟控訴審判決に注目してほしい」と呼びかけました。

連絡会の荒木兼男事務局次長は、ドイツは福島の事故を受け、原発ゼロを目指しているのに対し、日本は原発を稼働しようとしているが、危険な原発をつくるのは誤りだとして、「再生可能エネルギーへの転換」と訴えました。

参加者は、「今年は常識が通る政治をつくる年にしたい」と、原発再稼働の阻止へ決意を表明。新型コロナウイルスで後手後手の対策をとる菅義偉政権を批判し、「ひどい政権を代え、國民の命を守る政治にしようと」と訴えました。

日本民主青年同盟の出口洋介県委員長は、「ひとたび原発事故が起きたら生きることを問いかながら頑張りたい」と話しました。新日本婦人の会の奥村麗子さんは、「過疎や高齢化で町が存続できないとの思いで原発を受け入れた地域もある。国はどこに住んでも同じ生活ができるよう、支援をすべきだ」と訴えました。

緊急事態宣言が発出され、いる間は「抗議アクション」は一時休止されることになりました。

◇水戸 常識通る政治に

日本原子力発電東海第2原発（茨城県東海村）の廃炉をめざす「原電いばらき抗議アクション」が水戸市内であり、15人が参加しました。393回目です。

島有志の会は、JR徳島駅前で436回目の行動にとりくみました。「未来の中、「原発いらない」や「NO NUKES」のプラカードや鳴り物でアピールしました。日本民主青年同盟の出口洋介県委員長は、「ひとたび原発事故が起きたら生きることを問いかながら頑張りたい」と話しました。新日本婦人の会の奥村麗子さんは、「過疎や高齢化で町が存続できないとの思いで原発を受け入れた地域もある。国はどこに住んでも同じ生活ができるよう、支援をすべきだ」と訴えました。

「原発なくせ三重県民会議」は、津市のまん中広場で90回目の月例集会を開きました。17人が参加しました。参加者は厳しい冷え込みの中、「原発いらない」や「NO NUKES」のプラカードや鳴り物でアピールしました。

島有志の会は、JR徳島駅前で436回目の行動にとりくみました。「未来の中、「原発いらない」や「NO NUKES」のプラカードや鳴り物でアピールしました。日本民主青年同盟の出口洋介県委員長は、「ひとたび原発事故が起きたら生きることを問いかながら頑張りたい」と話しました。新日本婦人の会の奥村麗子さんは、「過疎や高齢化で町が存続できないとの思いで原発を受け入れた地域もある。国はどこに住んでも同じ生活ができるよう、支援をすべきだ」と訴えました。

徳島市の浜共生さん(39)は、「事故が起った10年前、『想定外』という言葉が盛んに流された。しかしその教訓は生かされず、経済界も政治も『想定外』を考えせず、自らの利益しか考慮せず、自らの利益しか考えていない」と批判。「市民の意志が原発をなくす力だ。身近な人と語りあうことから始めよう」と呼びかけました。

同市の林大輔さん(27)は、「愛媛県の伊方原発が事故が起こせば、徳島にも被害が及ぶ。原発はなくすしかない」と訴えました。

ブルカードを掲げアピールする参加者 津市

「県民会議」事務局の唐沢克昭さんは経済産業省の審議会で、原発の運転期間の延長を求める意見が出た

◇津 声を上げ続ける

「原発なくせ三重県民会議」は、津市のまん中広場で90回目の月例集会を開きました。17人が参加しました。

島有志の会は、JR徳島駅前で436回目の行動にとりくみました。「未来の中、「原発いらない」や「NO NUKES」のプラカードや鳴り物でアピールしました。日本民主青年同盟の出口洋介県委員長は、「ひとたび原発事故が起きたら生きることを問いかながら頑張りたい」と話しました。新日本婦人の会の奥村麗子さんは、「過疎や高齢化で町が存続できないとの思いで原発を受け入れた地域もある。国はどこに住んでも同じ生活ができるよう、支援をすべきだ」と訴えました。

徳島市の浜共生さん(39)は、「事故が起った10年前、『想定外』という言葉が盛んに流された。しかしその教訓は生かされず、経済界も政治も『想定外』を考えせず、自らの利益しか考慮せず、自らの利益しか考えていない」と批判。「市民の意志が原発をなくす力だ。身近な人と語りあうことから始めよう」と呼びかけました。

同市の林大輔さん(27)は、「愛媛県の伊方原発が事故が起こせば、徳島にも被害が及ぶ。原発はなくすしかない」と訴えました。

◇徳島 負の遺産残すな

島有志の会は、JR徳島駅前で436回目の行動にとりくみました。「未来の中、「原発いらない」や「NO NUKES」のプラカードや鳴り物でアピールしました。日本民主青年同盟の出口洋介県委員長は、「ひとたび原発事故が起きたら生きることを問いかながら頑張りたい」と話しました。新日本婦人の会の奥村麗子さんは、「過疎や高齢化で町が存続できないとの思いで原発を受け入れた地域もある。国はどこに住んでも同じ生活ができるよう、支援をすべきだ」と訴えました。

徳島市の浜共生さん(39)は、「事故が起った10年前、『想定外』という言葉が盛んに流された。しかしその教訓は生かされず、経済界も政治も『想定外』を考えせず、自らの利益しか考慮せず、自らの利益しか

横断幕や旗でアピールする参加者=15日、高松市



原発ゼロへ金曜行動

高松 福島事故の教訓は「廃炉」

金曜行動 1月15日

高松市で15日、原発再稼働に反対する金曜行動が行われ、有志が百貨店前で原発ゼロを求めてスタンディングしたのち、四国電力本店前でコールをしました。参加者は廃炉を求めるプラカードや横断幕を手に「原発いらない今すぐなくせ」「原発近くに活断層」と、原発の危険性をコールし、再稼働反対を訴えました。

横断幕を手に参加した男性(60)は「福島原発事故から10年を迎えるのに、故郷に帰れない人がたくさんいる。フクシマの教訓は原発ゼロです」と話しました。

原発再稼働ストップ

「県技術委員会委員／任命継続を！」などの看板を掲げて訴える参加者=新潟駅前



◇新潟
委員任命継続を

なぐそう原発・新潟市民ネットは、新潟駅前で32人が参加して397回目の金曜行動にとりくみました。集会では、新潟県が東京電力柏崎刈羽原発の安全性を検証する県技術委員会の一部委員を不再任と伝えた問題を中心に訴え。「高齢を理由に厳しい指摘をしてきた委員の排除は、技術委員会の審議をゆがめ、再稼働を早める動きだ」「多様な意見を議論し、県民の安心安全を導く結論を出せるた。

「新しい知見と言ふが、知見とは見聞で深めた経験だ。経験豊富な委員こそ責任すべきだ」など発言がありました。

金曜行動 1月22日

県知事あてに出す「再稼働に批判的な委員の排除」の任命継続を求める要望書を確認しました。

集会後、「県技術委員会委員／任命継続を！」の看板を先頭にデモ行進しました。